



地震

三木町におこりうる2種類の地震

① プレート境界地震

プレート境界地震とは、異なるプレートが重なっている境界で、一方のプレートが他方を引きずりこんでいく運動(プレートテクトニクス)によって発生する地震です。

南海地震って？

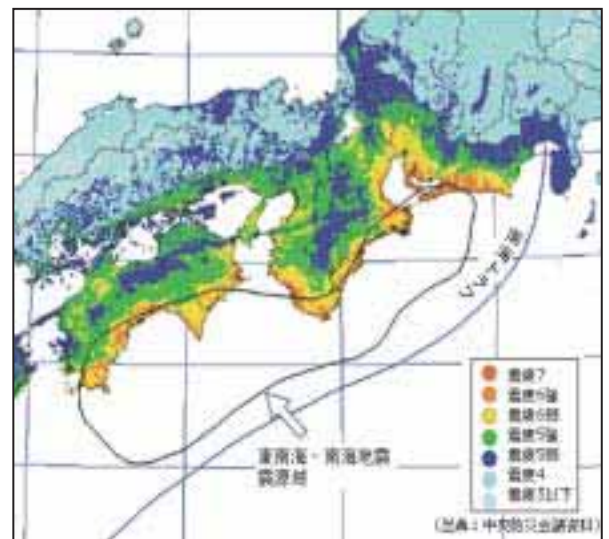
南海地震とは、ユーラシアプレートとフィリピン海プレート境界(紀伊半島・四国沖)において発生する地震をいい、周期的にM8クラスの巨大地震が発生しています。

過去の南海地震及び東南海地震との関連

年代	2000年代	1900年代	1800年代	1700年代	1600年代
南海地震	2???年	1946年 12月21日 (昭和南海地震)	1854年 12月24日 (安政南海地震)	1707年 10月28日 (宝永地震)	1605年 2月3日 (慶長地震)
東南海地震	2???年	1944年 12月7日	1854年 12月23日		
同時性	2???年	2年	32時間	同時	同時
繰り返し期間	60年+?年	92年	147年	102年	

東南海・南海地震震度分布

(東南海・南海地震が発生した時の想定震度分布)



上記のようにおよそ90～150年を周期として南海地震は発生し、前回より60年を経た現在、再び活動期に入ったと言われており、今後30年以内に発生する可能性は50%とされています。

② 活断層による直下型地震

香川県にもいくつかの活断層があります。

その中でも三木町南部の山ぎわを東西に走る長さ約24kmの長尾断層は、その活動の確実度から第一級に分類されています。

この断層は約3万年の間隔で活動し、その地震の規模はマグニチュード7.2程度とされています。

最後の活動が、平安時代かそれ以降の可能性も推定されていることから、今後30年間にこの断層の活動によって地震の発生する可能性は0%とされています。



三木町内における長尾断層(紫の点線)



地震発生 1~2分

3分

最初の激しい揺れは約1分程度

1 まず、身を守る

クッションや座布団などで頭を保護。机やテーブルの下へ。



2 すばやく火の始末

ガスやストーブの火を消し、電気器具はプラグを抜く。



3 非常脱出口の確保

玄関、窓を開けて逃げ口を確保。

揺れがおさまったら家族の安全確認

1 火元の確認

ガスの元栓を締め、ブレーカーを落とす。もし火が出ていたら、あわてずに初期消火を。

2 家族の安全確認

倒れた家具の下敷きになっていないか確認。



3 靴または底の厚いスリッパを履く

ガラスの破片や散乱物から足を守る。



4 津波、がけ崩れの危険地域はすぐ避難

余震に注意しつつ隣近所の安全確認

1 隣近所への声かけ

けが人、行方不明者がいないかを確認する。



2 火災時には協力して初期消火

大声で知らせ、消火器、バケツリレーなど近隣で協力して初期消火を。

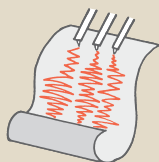


こんな現象が起こる!!

地震の震度

震度 0

地震計のみで観測でき、人体には感じない。



震度 1

屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。



震度 2

吊り下げ型の電灯や障子などがわずかに揺れる。



震度 3

電線が少し揺れ、棚の食器が音を立てることがある。



震度 4

電線が瓶などが倒れることがある。



避難までの行動マニュアル

5分

デマにまどわされず、正確な情報を収集

1 正しい情報を聞く

ラジオ等で正確な情報を収集。役場、消防、警察、自主防災組織の情報を確認。



2 電話は緊急連絡を優先

安易に電話をかけることは避け、安否の確認は「災害用伝言ダイヤル等」を活用する。(22P参照)



3 災害時要援護者を支援



10分

避難後は助け合いの心で行動を

1 地域ぐるみで協力して応急救護の体制を

2 水・食料の確保

いざというときのために、日ごろから最低でも3日分の飲料水と食料の備蓄を。(裏表紙参照)



2 倒壊した家やその危険性のある家には入らない

3 災害情報、被害情報の収集



4

震度 5弱

大きく揺れ、花
壺の悪い物が
こぼれること



食器類や書籍が落ち、
窓ガラスが割れること
がある。



震度 5強

テレビが台から落ち、
タンスや自動販売機が
倒れることがある。



震度 6弱

かなりの建物で、壁の
タイルや窓ガラスが破
損、落下する。



震度 6強

立っていることが出来
ず、固定していない重
い家具のほとんどが移
動、転倒する。



震度 7

耐震性の高い住宅でも、
傾いたり、大きく破損
するものがある。

